

流域モニタリング一斉調査について

○ 平成21年度流域モニタリング一斉調査結果

1 背景

- ・ 県民一人ひとりが、人間活動と水循環など環境とのかかわりを正しく理解し、自ら環境に配慮した行動をするためには環境学習の果たす役割がきわめて重要です。
- ・ この環境学習は、子どもたちが水や自然と触れたり、遊んだりする機会をより多く創出することにより、その中で水や自然の大切さや人と自然との共生について学んでもらうためのものです。
- ・ 身近な水辺に興味を持ってもらうため、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなるあいち水循環再生指標（平成19年7月作成）を活用して、「流域モニタリング一斉調査」を今年度より実施しました。
- ・ この調査は水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待しています。

2 公募状況

- ・ 今年度は事務局（県環境部水地盤環境課）で記者発表を行い、5月29日の中日新聞（朝刊）に調査の実施についての記事が掲載されました。また、市町村においては約5割の29市町村で広報等を活用した公募を行いました。

公募方法

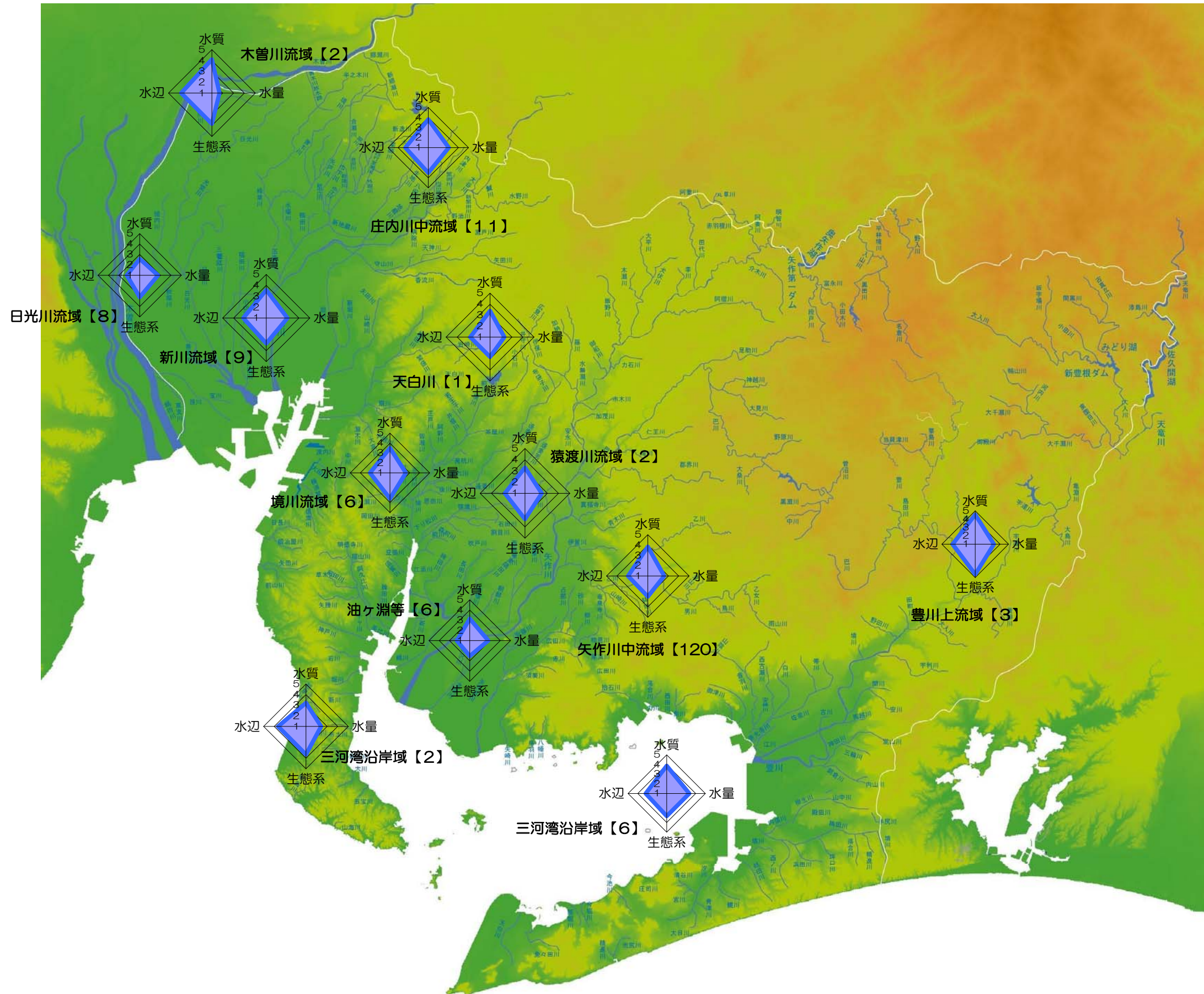
	広報	広報+ホームページ	広報+ちらし	ちらし	ホームページ	公募していない
尾張地域	8	2	0	5	1	14
西三河地域	6	0	1	1	0	14
東三河地域	3	0	0	2	0	4
合計	17	2	1	8	1	32

3 調査結果

- ・ 今年度は「流域モニタリング一斉調査」の初年度であり、約4割の市町村で参加がありました。（調査結果は別図参照）

地域名	実施状況			
	市町村数	参加団体数	のべ参加人数	のべ調査地点
尾張地域	13	63	389	148
西三河地域	8	13	422	131
東三河地域	4	7	73	8
合計	25	83	884	287

平成21年度 流域モニタリング一斉調査結果（総合）



調査項目

- 水質 水の色、濁り、におい 等
- 水量 水深、流速 等
- 生態系 魚、周辺の植生 等
- 水辺 水辺への近づきやすさ、ごみ 等

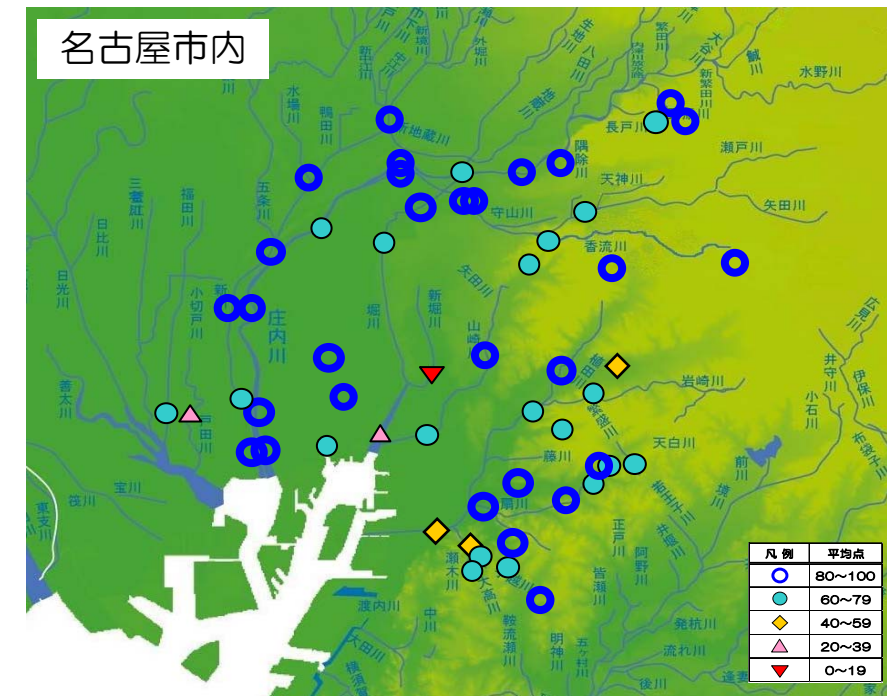
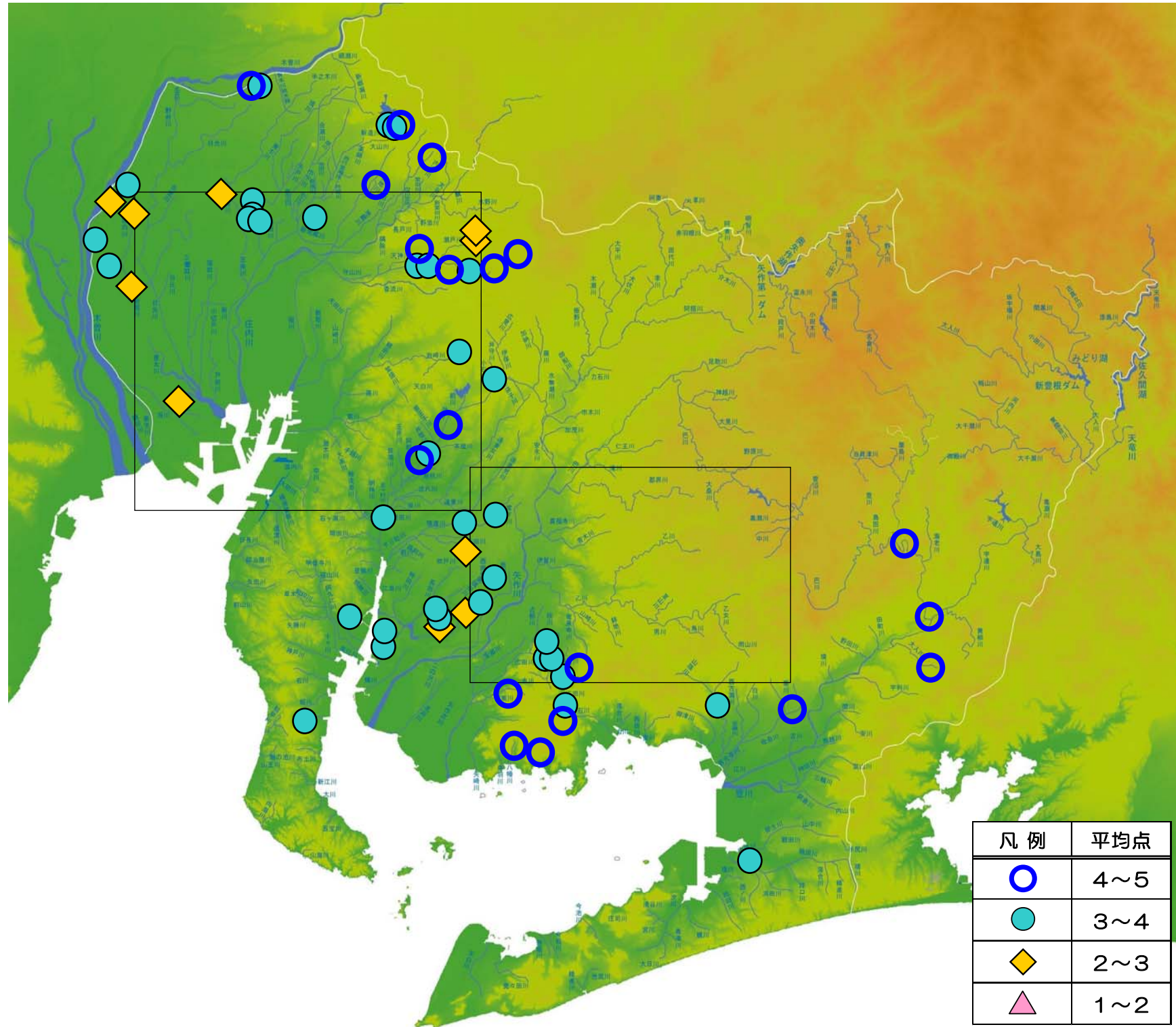
各項目を5段階評価しています

例) 水の濁り

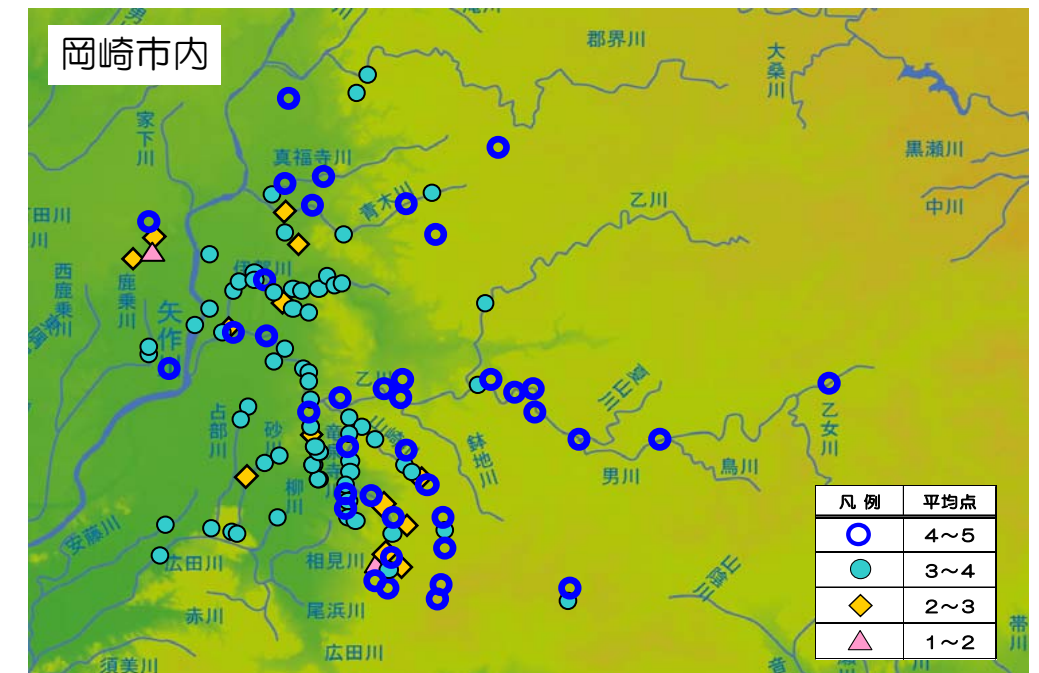
5	4	3	2	1
透明	(中間)	少し濁っている	(中間)	大変濁っている

※ 名古屋市水質環境目標値市民モニタリングの結果は表示していません

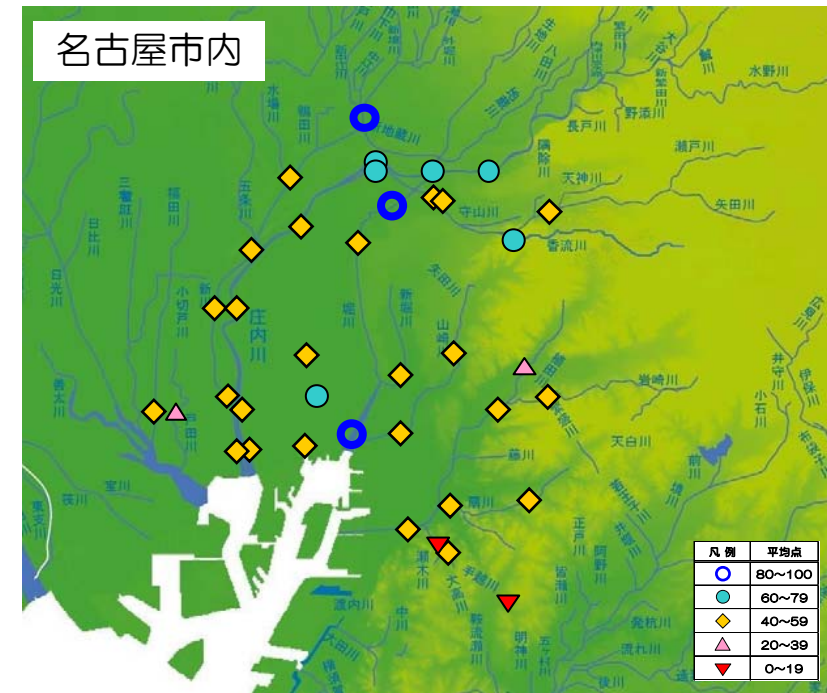
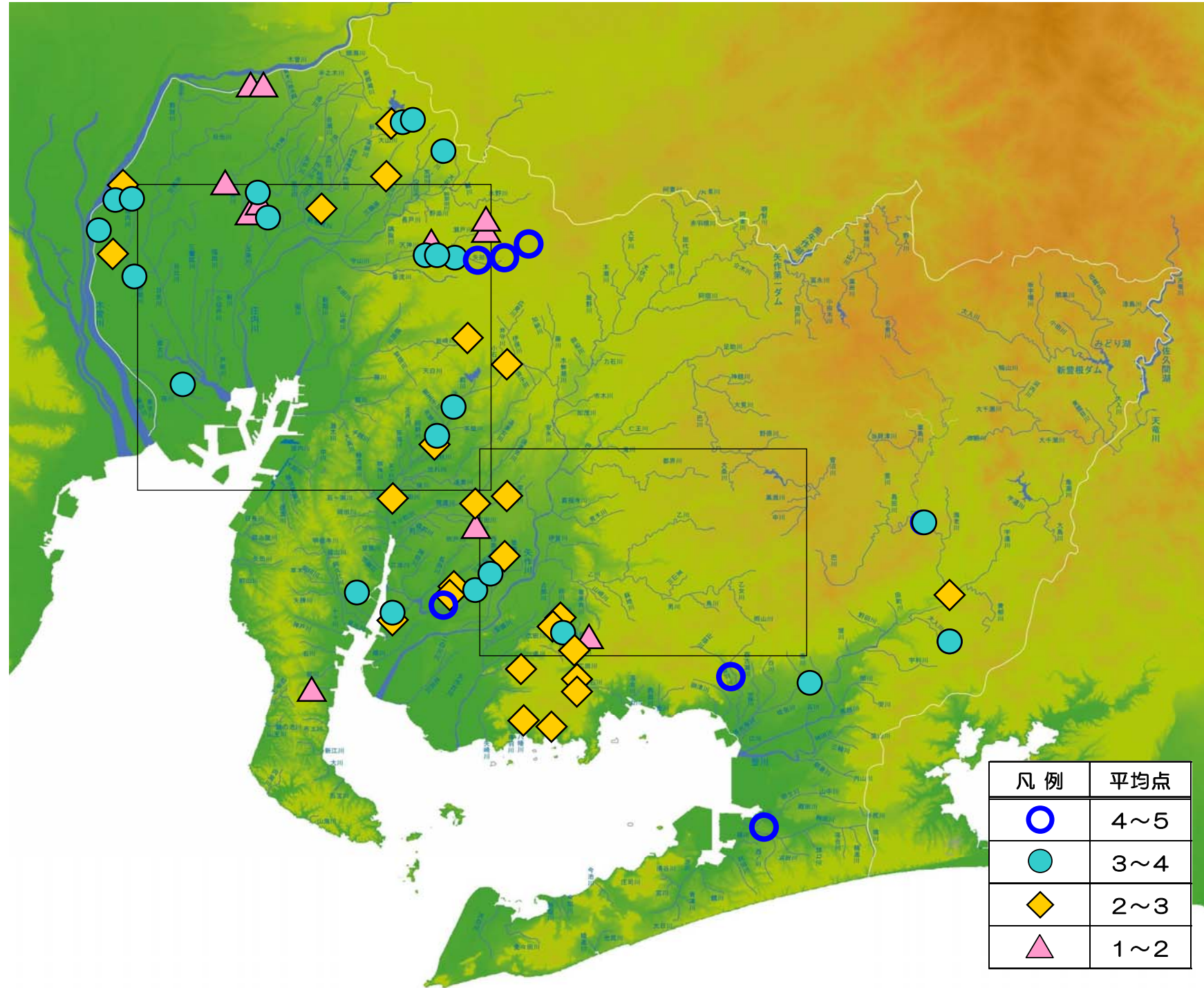
平成21年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）



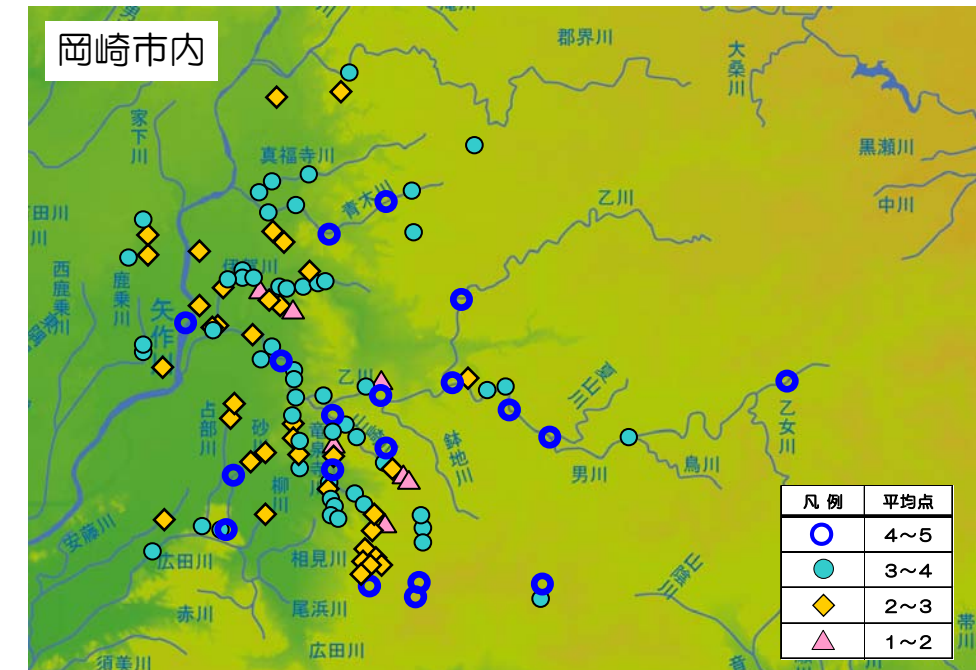
※ 名古屋市は「水質環境目標値市民モニタリング」の結果を表示しています。水の色、水のおおいの項目を水質として集計しています。



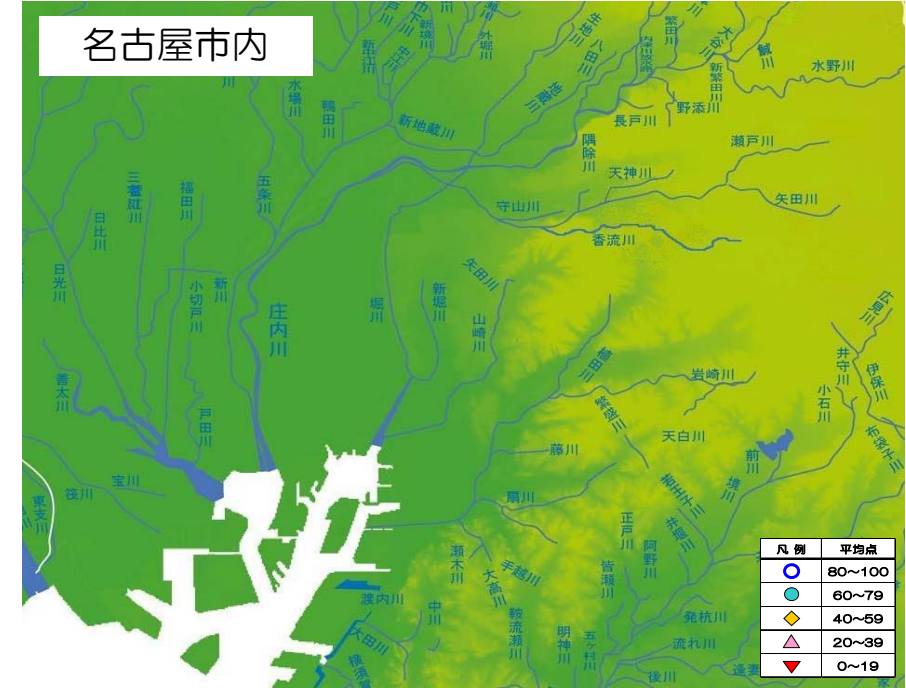
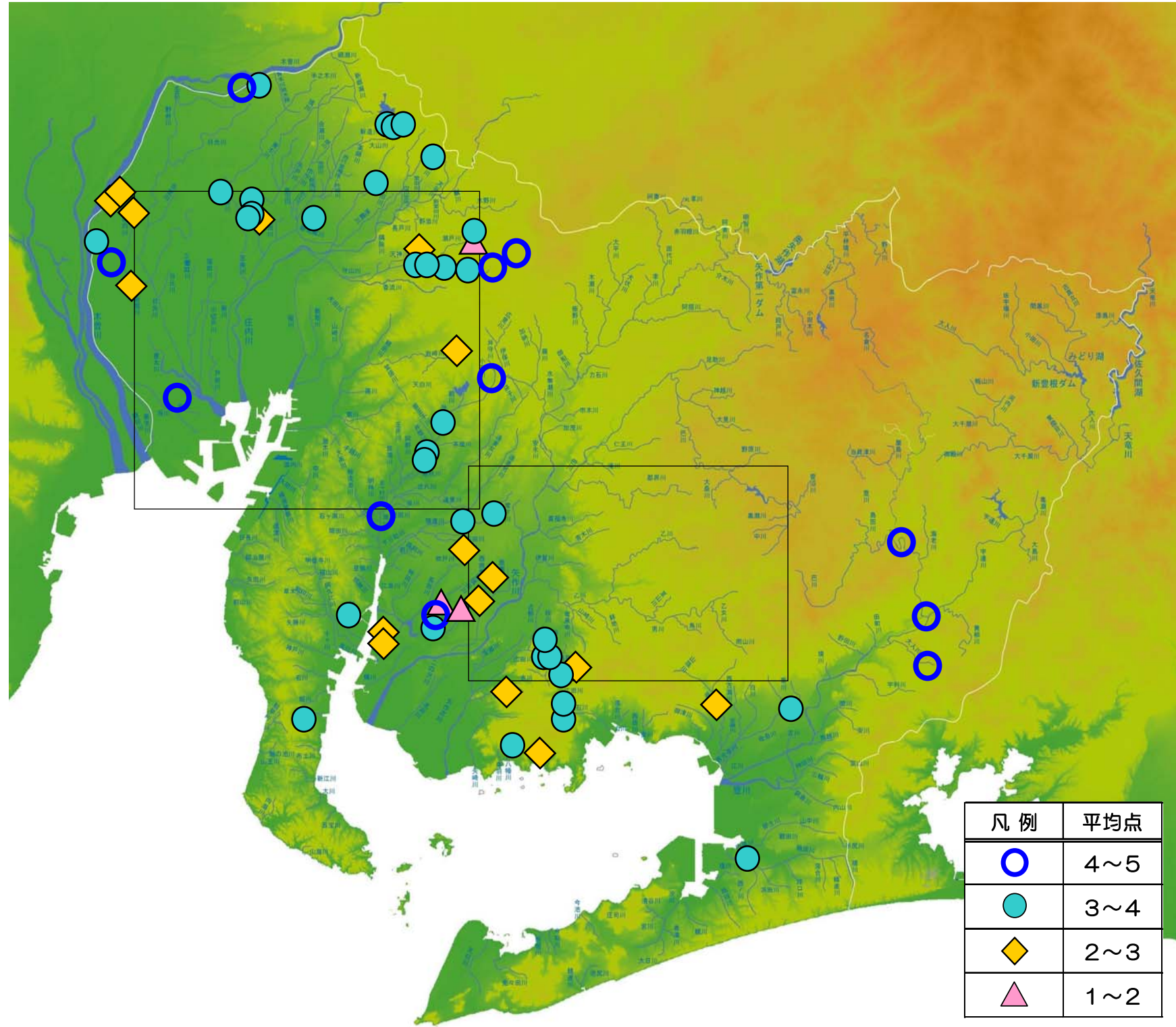
平成21年度 流域モニタリング一斉調査結果（水量）



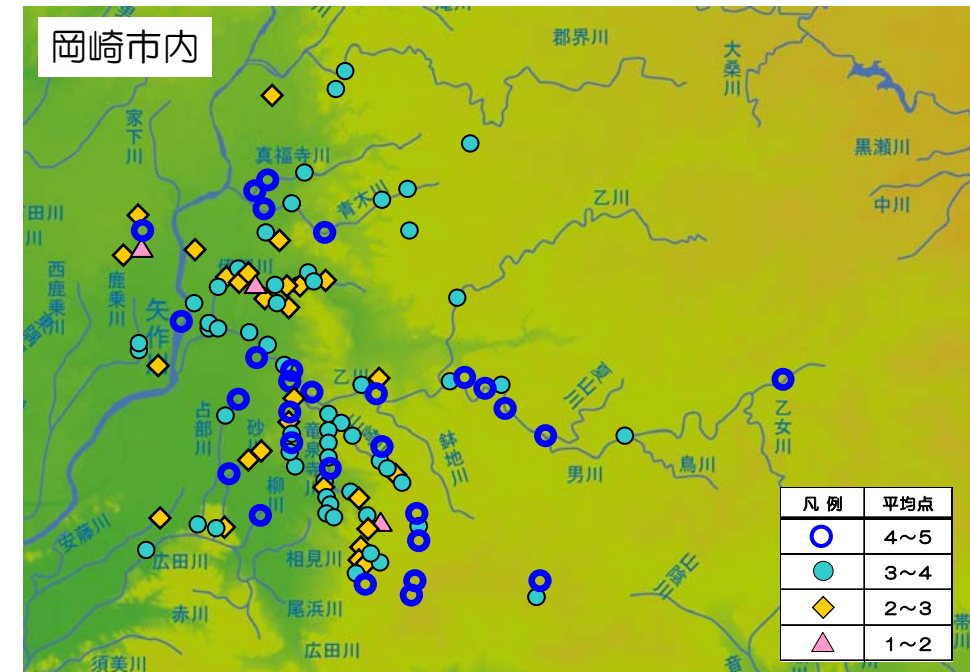
※ 名古屋市は「水質環境目標値市民モニタリング」の結果を表示しています。水量の項目を水量として集計しています。



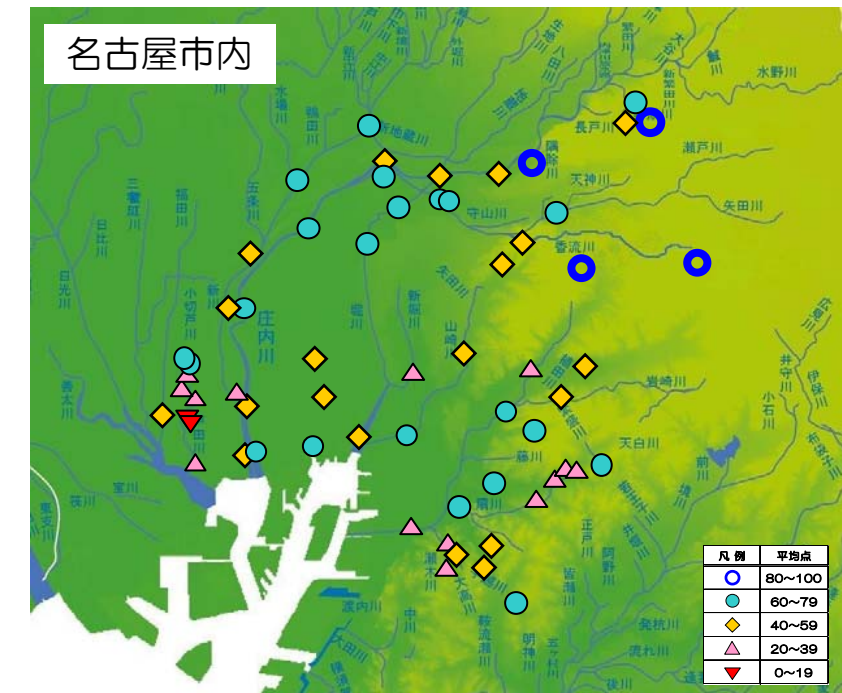
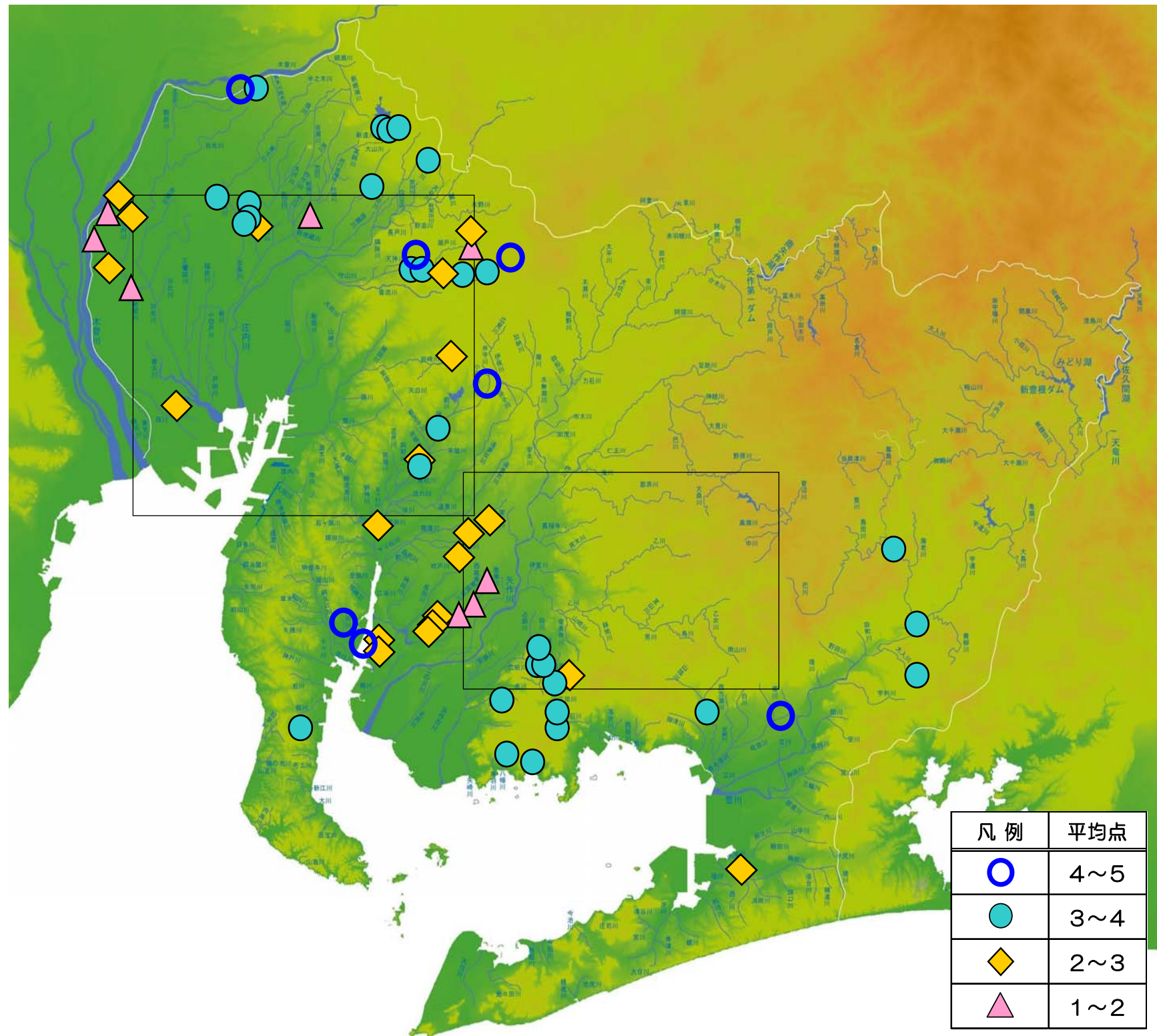
平成21年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



※ 名古屋市は「水質環境目標値市民モニタリング」の結果を表示しています。生態系については調査項目に入っていないため表示していません。



平成21年度 流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



※ 名古屋市は「水質環境目標値市民モニタリング」の結果を表示しています。透視度、ごみの項目を水辺として集計しています。

